

富山市日本海文化研究所 21—25 年間の活動記録

1. 日本海文化を考えるゼミナール学習会

◎平成 18 年度～19 年度

- ・メインテーマ：「とやまの鋳物を探る」(28 回) ※17 年度から継続
- ・講師 当所事務局・富山市埋蔵文化財センター主査学芸員 大野 英子
当所事務局・富山市埋蔵文化財センター主査学芸員 鹿島 昌也
当所事務局・富山市埋蔵文化財センター学芸員 小黒 智久
- ・公開講演 平成 18 年 7 月 12 日
「戦国史・真宗史からみた金屋周辺地域」
当所研究員・富山県公文書館資料課 金龍 教英
- ・学習成果発表会 平成 20 年 1 月 26 日
特別講演 「鋳物作品から歴史を読み解く」
京都国立博物館工芸室長 久保 智康
ゼミ生による報告 稲垣宗昭、小杉穂、経沢信弘、中川敦子
野田正美 深川悦子 森喜美

◎平成 20 年度～22 年度

- ・メインテーマ：「古代における越中国と能登地域」(33 回)
- ・講師 当所事務局・富山市埋蔵文化財センター主査学芸員 鹿島 昌也
当所事務局・富山市埋蔵文化財センター学芸員 細辻 嘉門
- ・公開講演 平成 20 年 6 月 19 日
「古代における越中国と能登地域」
富山大学文学部教授 鈴木 景二
- ・越中万葉ゼミ 平成 21 年 3 月 23 日
「大友家持『越中巡行』の虚実」
高岡市万葉歴史館主任研究員 関 孝司
- ・ゼミフォーラム「古代における越中国と能登地域」
(3 年間の成果発表会) 平成 22 年 12 月 11 日
特別講演 「古代気多神社と羽咋市・寺家遺跡」
金沢学院大学教授 小嶋 芳孝
ゼミ生による報告 五十嵐頭房 内島文 北河美智子 佐藤稔
仙石正三 田治外茂子 経沢信弘 砺波千恵子
中島信之 西村盛一 針山康雄 宮原俊英 森喜美

2. 日本海文化研究所公開講座

◎平成 18 年度 (9 回) (17 年度から継続 計 18 回)

共通テーマ：「山からみた日本海文化」

- (10) 5 月 23 日
「飛越伝説と日本海」
滋賀民俗学会理事 兼康 保明
- (11) 6 月 27 日
「立山信仰と立山曼荼羅—初心者もわかる立山信仰世界—」
富山県 [立山博物館] 主任・学芸員 福江 充
- (12) 7 月 26 日
「鏡花『黒百合』考—立山と洪水」
金沢大学文学部教授 上田 正行

- (13) 8 月 23 日
「越後府中と直江の津—日本海の東と西—」
上越市教育委員会生涯学習課副課長 小島 幸雄

- (14) 10 月 31 日
「海山のあいだ—その民俗世界をさぐる—」
近畿大学特任教授 野本 寛一

- (15) 11 月 28 日
「俱利伽羅合戦譚の展開」
富山大学文学部教授 吳羽 長

- (16) 12 月 12 日
「山頂採取遺物から推定する山岳信仰」
関西電力 佐伯 哲也

- (17) 2 月 27 日
「芦峯寺流“女人救済”の民間信仰上の意義」
越中立山権山神社権禰直 佐伯 史磨

- (18) 3 月 13 日
「海からの警告—循環型社会の構築へ向けて」
新湊漁業協同組合代表理事組合長 矢野 恒信

◎平成 19～20 年度 (2 年間 16 回)

共通テーマ：「祭りと信仰からみた日本海文化」

- (1) 5 月 2 日
「火を流す祭り—日本海側のネプタ流し・ほかー」
富山民俗の会常任幹事 佐伯 安一

- (2) 6 月 6 日
「曳山祭りの今日—越中の曳山と氷見の曳山—」
氷見市立博物館館長 小堺 卓治

- (3) 7 月 18 日
「古代祭祀遺跡の調査」
(財)石川県埋蔵文化財センター調査部主任主事 大西 顕

- (4) 10 月 7 日
「古墳儀礼からみた日本海文化」
専修大学文学部教授 土生田純之

- (5) 11 月 21 日
「立山開山縁起にみえる放鷹—『古事記』説話に関連して—」
当所所員、富山市立南部中学校校長 木本 秀樹

- (6) 12 月 4 日
「白山信仰と美術」
石川県立歴史博物館学芸主幹 北 春千代

- (7) 1 月 25 日
「モノに込めた神仏への祈り」
京都国立博物館工芸室長 久保 智康

- (8) 2 月 26 日
「良寛・弥彦・米山の歌」
当所所長 武部弥十武

(9)5月19日
「水と雷の神さまとやまの加茂信仰」
射水市新湊博物館学芸員 松山 充宏

(10)6月30日
「日本海沿岸の古代祭祀～古代越中国を中心として～」
富山市埋蔵文化財センター主査学芸員 堀沢 祐一

(11)7月23日
「越中の伝説と庶民信仰」
当所研究員、富山県立水橋高等学校校長 高谷 純夫

(12)8月29日
「海の向こうの葬送儀礼—朝鮮三国時代墓制の特質を中心に—」
京都大学大学院文学研究科准教授 吉井 秀夫

(13)10月24日
「富山の石仏」
土蔵の会 尾田 武雄

(14)11月19日
「ハレと言祝ぎ」
富山大学人文学部准教授 中井 精一

(15)12月14日
「チンギス・ハン祭祀にみる遊牧民の祈り」
新潟大学超域研究機構教授 白石 典之

(16)2月24日
「諏訪大社の御柱を考古学する」
当所所員、富山市埋蔵文化財センター所長 藤田富士夫

◎平成21～22年度(2年間16回)

共通テーマ:「日本海を行き交う人・モノ・文化」

(1)4月23日
「日本海をめぐる旧石器時代の交流」
当所研究員、魚津市教育委員会魚津市立図書館長兼市史編纂室長
麻柄 一志

(2)5月10日
「古代越中の村と戦争」
当所研究員、富山県立高岡高等学校教諭 城岡 朋洋

(3)6月29日
「富山湾周辺地域の木造和噴台～丸木舟から構造船へ～」
氷見市教育委員会生涯学習課学芸員兼氷見市立博物館学芸員
廣瀬 直樹

(4)7月20日
「日本海を北上した古代の人びと—開拓と移民—」
奈良大学文学部教授 坂井 秀弥

(5)8月19日
「上杉景勝と朝敵出兵」
当所研究員、とやま歴史的環境づくり研究会代表 高岡 徹

(6)10月26日
「富山の「海」に関する地名」
県民カレッジ砺波地区センター学習専門員 中葉 博文

(7)11月30日

「東アジアにおける玉文化の起原と発展」
香港中文大学中国文化研究所教授 鄧 聰

(8)2月6日
「北前船と「北国街道」・「日本海海道」から「日本海道」へ」
富山大学人間発達科学部教授 深井 甚三

(9)4月29日
「翡翠の加工と流通」
糸魚川市教育委員会文化振興課文化財係長 木島 勉

(10)5月16日
「京都舞鶴の丸木舟—縄文海面と交流—」
財京都府埋蔵文化財調査研究センター主管、龍谷大学非常勤講師
石井 誠司

(11)6月14日
「東アジアにおける古代の鉄」
前富山県埋蔵文化財センター所長 関 清

(12)7月10日
「古代北陸の津湊と交通」
金沢市都市政策局歴史遺産保存部文化財保護課長
兼 金沢市埋蔵文化財センター所長 出越 茂和

(13)8月2日
「韓の国(からのくに)より渡り来た人々
～南加賀の遺跡にみる渡来文化～」
小松市埋蔵文化財センター所長 望月 精司

(14)9月15日
「よみがえる渤海の輝き」
金沢学院大学美術文化学部文化財学科学部准教授 中村 晋也

(15)10月29日
「敦賀湊の変遷—出土品と歴史資料から—」
敦賀市教育委員会文化振興課文化財係長 中野 拓郎

(16)2月22日
「北陸の木造建築—遺跡出土柱根樹種から—」
財富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所調査第二課主任
町田 賢一

3. 富山市日本海研究所設立20周年記念講演会

◎平成18年9月16日
記念講演「富山市日本海文化研究所設立のころ」
本所所員・富山市埋蔵文化財センター所長 藤田 富士夫
特別講演
「日本海の新文化を再検討する」
当所参与・和洋女子大学名誉教授 寺村 光晴

4. 日本海文化を考えるフォーラム・シンポジウム

◎平成19年度
9月23日 フォーラム「山からみた日本海文化」
(公開講座2年間の総括)
特別講演:「山岳霊場と海の道」
立正大学文学部准教授 時枝 務
フォーラム:パネラー 富山大学人文学部教授 黒崎 直

当所研究員・富山県[立山博物館]主任・学芸員 福江 充
当所研究員・富山県公文書館資料課主任 森 俊
司会 当所研究員・富山市埋蔵文化財センター所長 藤田富士夫

◎平成20年度

9月14日 「古代越中国婦負郡を探る」

特別講演：「仏教と考古学」

元立正大学学長 坂詰 秀一
フォーラム：パネラー 富山大学人文学部教授 鈴木 景二
高岡市万葉歴史館学芸課長 川崎 晃
当所事務局・富山市埋蔵文化財センター主査学芸員 鹿島 昌也
司会 当所研究員・富山市埋蔵文化財センター所長 藤田富士夫

◎平成21年度

9月13日 フォーラム「祭りと信仰からみた日本海文化」

(公開講座2年間の総括)

特別講演：「越とヲチミヅ(変若水)」

京都教育大学名誉教授 和田 萃
フォーラム：パネラー 当所研究員・富山民俗の具代表 佐伯 安一
射水市新湊博物館主任・学芸員 松山 充宏
富山市教育委員会生涯学習課文化財係長 堀沢 祐一
司会 当所研究員・富山市埋蔵文化財センター所長 藤田富士夫

5『富山市日本海文化研究所報』の刊行

◎第37号《研究所設立20周年記念号》 平成18年12月10日刊行

・研究所設立20周年を迎えて
当所所長 武部 弥十武

・研究所設立20周年に寄せて 日本海文化と蝦夷
当所顧問・同志社大学名誉教授 森 浩一

・研究所設立20周年に寄せて
祝、富山市日本海文化研究所設立20周年一心残りな資料—
当所顧問・元京都橘大学学長 門脇 禎二

・特別講演 講演要旨
日本海のヒスイ文化を再検討する
当所参与・和洋女子大学名誉教授 寺村 光晴

・記念講演 講演要旨
富山市日本海文化研究所設立のころ
当所研究員・富山市埋蔵文化財センター所長 藤田富士夫

・日本海文化研究所11～20年間の活動記録
日本海文化研究所編

◎第38号 平成19年3月31日刊行

・戦国史・真宗史からみた中世の金屋周辺地域
当所研究員 金龍 教英

・呉羽山に埋もれた七面堂、宝塔、寺院等の建立地について
当所研究員 武内 淑子

・連歌師宗祇来越と五位の庄
当所所長 武部弥十武

◎第39号 平成19年9月5日刊行

・越中鋳物師と富山城下町の鋳物師
富山県郷土史会副会長 前田 英雄

・富崎金屋・富山町金屋・五福(金屋)について
当所研究員 金龍 教英

・新発見の黒川砦とその構築の背景
当所研究員 高岡 徹

・追悼・門脇禎二先生と日本海文化
当所研究員 藤田富士夫

◎第40号 平成20年3月31日刊行

・(続)富山城下町の鋳物師
富山県郷土史会副会長 前田 英雄

・金屋南遺跡と御殿金屋～富山市日本海文化研究所ゼミナール学習会
「とやまの鋳物を探る」の記録～
学習会受講生 稲垣宗昭 小杉醇 経沢信弘 中川敦子
野田正美 深川悦子 森喜美

◎第41号 平成20年9月5日刊行

・フォーラム「山からみた日本海文化」
日本海文化研究所編

・永禄前期における神保長職の動向と増山城
—永禄5年(1562)の上杉景虎書状を中心に—
当所研究員 高岡 徹

・浄土真宗専徳寺跡について
—高清水山地の麓に残る中世寺院遺構の実態—
当所研究員 高岡 徹

◎第42号 平成21年3月19日刊行

・小島職鎮と寺島職定
—一向一揆覚醒・池田籠城・江馬輝盛討伐—
当所研究員 久保 尚文

・万葉集巻一末、巻二末の増補等を暗示する歌
当所所長 吉川 實

・追悼 布目順郎先生を偲ぶ
当所研究員 藤田富士夫

◎第43号 平成21年9月10日刊行

・湖底に沈んだムラの穴熊狩り
—富山県旧東砺波郡上平村桂の場合—
当所研究員 森 俊

・同時代人の「寺島職定」評価
当所研究員 久保 尚文

・呉羽山東麓の白鳥神社について
当所研究員 武内 淑子

◎第44号 平成22年3月29日

・越とヲチミヅ(変若水)
京都教育大学名誉教授 和田 萃

・富山市日本海文化研究所図書目録I
日本海文化研究所編

◎第45号 平成22年7月30日

・ブリをきこしめす神々—北陸の魚が彩る神饌
射水市新湊博物館主任・学芸員 松山 充宏

- ・北陸地域の焼失住居跡について
富山市日本海文化研究所ゼミナール学習会受講生 森 喜美
当所研究員 森 俊
- ・熊のトメグソ（肛門内残便）を薬用とすること—富山県の事例を中心に—
当所研究員 森 俊
- ・富山市日本海文化研究所図書目録Ⅱ
日本海文化研究所編 当所所員 久保 尚文

◎第46号 平成22年3月25日

- ・能登の衢（ちまた）と祭祀
金沢学院大学教授 小嶋 芳孝 当所研究員 高岡 徹
- ・古代における越中国と能登地域—神社と遺跡から古代を探る—
～富山市日本海文化研究所ゼミナール学習会の記録～
学習会受講生 五十嵐顕房 内島文 北河美智子 佐藤稔
仙石正三 田治外茂子 経沢信弘 砺波千恵子
中島信之 西村盛一 針山康雄 宮原俊英 森喜美
- ・最後の飛騨部隊新見内膳正功と立山信仰
—特に芦峯寺宝泉坊との関係を中心に—
当所研究員・富山県 [立山博物館] 係長・学芸員 福江 充
- ・越中御家人太田氏にみる得宗専制化
当所所員 久保 尚文
- ・戦国末期における高清水山地の戦いとその実相
—佐々成政の軍事攻勢と五箇山一揆の制圧—
当所研究員 高岡 徹
- ・聖教が語る経済交流—海と川に広がる加茂信仰
射水市新湊博物館主任・学芸員 松山 充宏

6. 『富山市日本海文化研究所紀要』の刊行

◎第20号 平成19年3月31日刊行

- ・中世水見町の「市と宿」と寺院について
当所所員 久保 尚文
- ・農山漁村経済更生運動の地域的展開
—富山県水見郡の事例紹介を中心として—
当所研究員 高橋 延定

◎第21号 平成20年3月31日刊行

- ・山岳霊場と海の道
立正大学文学部准教授 時枝 勉
- ・富山藩の江戸屋敷
当所研究員 栗三 直隆

◎第22号 平成21年3月19日刊行

- ・戦国の武将唐人氏—その軌跡と実像—
当所研究員・とやま歴史的環境づくり研究会代表 高岡 徹
- ・小出城跡から出土した種実遺体群
財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財団査査事務所主任 島田 亮仁
- ・飛越国境のカモシカ猟
当所研究員・富山県公文書館資料課主任 森 俊
- ・可視聴化された権力—越中守護と真言系寺院
射水市新湊博物館主任・学芸員 松山 充宏

◎第23号 平成22年9月25日発行

- ・近世富山藩寺院書上について—日蓮宗を中心として—
当所所員 久保 尚文
- ・幕末における砺波郡の中世城跡絵図作成の背景
—富山県立図書館中島文庫所蔵絵図の検討を中心に—
当所研究員・富山県立図書館編纂主任 高岡 徹
- ・古代越中のナリハビについて
当所研究員・富山県立高岡高等学校教諭 城岡 朋洋
- ・研究ノート『喚起泉達録』にみえる太夫川考
当所所員・富山市立呉羽中学校校長 木本 秀樹
- ・越中渡辺党の中世—神通川水系に広がる伝承—
中世史研究会会員 松山 充宏
- ・史料紹介 本法寺「絹本着色法華経曼荼羅図」裏書
中世史研究会会員 松山 充宏
- ・近世後期の新川郡農村における相撲の開催について
—加賀藩領広田新屋村を中心に—
とやま歴史的環境づくり研究会代表 高岡 徹
- ・第一次世界大戦期の農事改良と地方行政・農会
—富山県における正条植・田植卒の普及課程を通して—
富山市民俗資料館学芸員 能川(尾島) 志保

◎第24号 平成23年3月25日刊行

- ・越後衆北洋進出の一断章—田村廣松日記をもとに—

7. 『日本海文化研究所公開講座記録集』の刊行

◎平成18年8月31日刊行

「山からみた日本海文化」Ⅰ 平成17年度記録集

◎平成19年8月31日刊行

「山からみた日本海文化」Ⅱ 平成18年度記録集

◎平成20年9月17日刊行

「祭り信仰からみた日本海文化」Ⅰ 平成19年度記録集

◎平成21年8月31日刊行

「祭り信仰からみた日本海文化」Ⅱ 平成20年度記録集

◎平成22年8月31日刊行

「日本海を行き交う人・モノ・文化」Ⅰ 平成21年度記録集

◎平成24年3月30日刊行

「日本海を行き交う人・モノ・文化」Ⅱ 平成22年度記録集

8. 『日文研NEWS』の刊行

◎平成18年度 83号～91号

◎平成19年度 92号～95号

◎平成20年度 96号～100号

◎平成21年度 101号～105号

9. 『日本海文化研究』の刊行

◎平成24年3月30日刊行

富山市教育委員会編

- ・講演録 古代日本海文化と越中富山
同志社大学名誉教授・前富山市日本海文化研究所顧問 森 浩一
- ・越中渡辺党の中世—神通川水系に広がる伝承—
中世史研究会会員 松山 充宏
- ・史料紹介 本法寺「絹本着色法華経曼荼羅図」裏書
中世史研究会会員 松山 充宏
- ・近世後期の新川郡農村における相撲の開催について
—加賀藩領広田新屋村を中心に—
とやま歴史的環境づくり研究会代表 高岡 徹
- ・第一次世界大戦期の農事改良と地方行政・農会
—富山県における正条植・田植卒の普及課程を通して—
富山市民俗資料館学芸員 能川(尾島) 志保